

エネルギーに関する視察研修会 報告書

- 開催日 平成 27 年 9 月 16 日（水）
- 視察先 岩谷産業㈱中央研究所（兵庫県尼崎市次屋 3 丁目 3 番 16 号）
- 目的 水素エネルギーについて理解を深める
- 参加者 19 名
- 主催 三原商工会議所 環境エネルギー委員会

本所環境エネルギー委員会（須崎裕之委員長）では、9 月 16 日（水）、エネルギーに関する視察研修会を実施しました。

当委員会では、本年度、CO₂を発生しないクリーンなエネルギーとして注目されている水素エネルギーを調査研究することとしており、水素エネルギー社会の未来を牽引している「岩谷産業株式会社中央研究所」を訪問しました。

岩谷産業株式会社の概要説明

岩谷産業株式会社エネルギー広島支店長より、概要説明を受けました。



- ・1930 年 大阪に岩谷直治商店を創業し、酸素・溶接材料の販売を開始。
企業理念「世の中に必要な人間となれ、世の中に必要なものこそ栄える」
- ・1953 年 国内初の家庭用 L P ガス『マルキプロパン』の販売を開始。
- ・1958 年 大阪水素工業（現 岩谷瓦斯）を設立。翌年、水素工場が完成。
創業者である故岩谷直治氏は「水素こそ人類の究極のクリーンエネルギー」として、液化水素に将来の夢を託しました。
1941 年に油脂メーカーの余剰水素の販売から水素事業を開始。1960 年頃には長尺容器やトレーラーなどの輸送車を開発して水素ガスの大量輸送方法を確立。1970 年代には国のサンシャイン計画で水素に関する研究委託を受け、1978 年わが国初の商業用液化水素製造プラントが完成。H 型ロケットの燃料として宇宙開発事業団（現 宇宙航空研究開発機構）への液化水

素供給を開始するなど、常に先駆的役割を担ってきました。

- ・1969年 ホースノンこんろ『カセットフー』の販売

また、岩谷産業株式会社は、全国310万世帯、中国エリア約32万世帯にLPガスを届けています。LPガスは、①クリーンエネルギー、②可搬性のある分散型エネルギー、③災害に強いという特徴があり、災害発生時における役割が見直されています。

施設の見学

世界トップレベルの高精度の分析装置を備えた実験室やエネルギー関連デモンストラーションルーム、ガスヤードなどを見学しました。

中央研究所では、ナノスケールから超精密なガス分析まで、先端の研究課題に対応する各種分析装置を取り備え、次世代を担う技術の検証を行っています。また、水素とLPガス、太陽光、電気の4つの供給源を組み合わせることでエネルギーの効率化を図っており、実験で使用した水素を回収し、燃料電池で発電して再利用しています。



エネルギー関連デモンストラーションルーム



ガスヤード

水素ステーション

「イワタニ水素ステーション尼崎」は、中央研究所に併設された日本発の商用水素ステーションです。最新の充填技術を採用し、燃料電池自動車（水素自動車）に約3分で水素を充填できる能力を有しています。液体水素による供給方式を採用しており、将来の需要増にも対応が可能です。



燃料電池自動車「MIRAI」の試乗

中央研究所の担当者の運転により試乗しました。

燃料電池自動車「MIRAI」は、水素で作った電気により、モーターで走ります。ガソリンを使わないため、CO₂を発生させることがありません。排出するのは、水素と酸素が結びついてできた水だけなので、とてもクリーンです。



参加者の感想

- ・水素社会の最先端技術を見ることができた。
- ・防災型LPガス非常用発電機のことなど知ることができた。
- ・MIRAIに試乗でき、燃料電池車を身近に感じることができた。

など、皆様から視察内容が「よかった」との声をいただき、有意義な視察になりました。

